

実施  
事業

マッチングイベント  
(東京・大阪・広島にて計3回)

伴走支援  
(山口県・山口市、奈義町、南伊豆町)

オンライン意見交換会  
(テーマを変えて計4回)

## 「生涯活躍のまち」づくりにおける官民連携プロセス

1 現状把握

Q: 将来像に照らして、解決したい地域課題は具体的に特定できているか？(複数あっても可)  
Q: 「生涯活躍のまち」づくりによって目指す地域の将来像は描けているか？  
Q: 地域課題や将来像を踏まえ、民間事業者等との対話のための情報は整理できているか？

Yes No

地域課題の優先順位づけ、これまで実施した施策などの関連情報を整理

2 方向性の見定め

Q: 今後官民連携で実現したい事業について、連携したい民間事業者等の事業・サービス等についてリサーチしているか？

Yes No

先行する地方公共団体からヒントを得る

連携したい事業者の業種・サービスのイメージを持つ

民間事業者等との「情報交換」

**事前準備**  
Q: 民間事業者等との「情報交換」に割ける時間、人員はどの程度あるか？  
Q: 民間事業者との「情報交換」では、情報収集に重きを置きたいのか、それとも、アイデアや仮説を議論して、事業構想の練り直しや、実行可能性を探ることに重きを置きたいのか？  
Q: 民間事業者等との「情報交換」の際に、伝えるべきことや話の流れを整理できているか？  
Q: 地方公共団体側の参加者の間で、「情報交換」で達成したいこと(入手したい情報)等を認識合わせできているか？

**振り返り**  
Q: 民間事業者等との「情報交換」で得た情報を振り返り、次のステップを関係者で確認したか(庁内の関係部局への共有も含む)？

3 事業の具体化

Q: 公募手続き等、今後の段取りが見えているか？  
Q: 民間事業者等との役割分担や費用負担等事業実施までに必要なことのイメージが掴めているか？

No

地域課題と対応策の再整理、関係部局での検討、事業スケジュールの可視化を行う

『積み木アプローチ説明書』を参照しつつ課題を整理  
「ヒアリングシート」を活用して、対話のための情報を整理

資料のDLはこちら！

事例集や公開されている情報、各種イベントを最大限に活用して情報収集

【「生涯活躍のまち」事例集の活用】

【各政策分野の事例集の活用】 例：グリーンインフラ事例集

【イベントの活用】 例：意見交換会

答えに応じて最適な情報交換手法を選んで実施(各手法のメリット・デメリットは報告書参照)

【イベントの活用】 例：国主催のマッチングイベント

【HP等で募集】 例：サウンディング型調査

【個別に声かけ】

次のような観点で事業を具体化(順序は様々)

- ❖ スケジュール・今後の段どりの可視化
- ❖ 民間事業者等の参画メリットや制約条件の精査
- ❖ 事業の実施手法・民間事業者等の選定プロセスの整理
- ❖ 事業の位置づけ・事業間連携の整理
- ❖ 事業財源の確保
- ❖ 事業実施体制の構築
- …など

仮置きでもスケジュールの可視化が第一歩！